

「全国信用金庫大会」における御室全信協会長の挨拶要旨

日 時：2023年6月21日（水）

15時00分～

場 所：経団連会館

2階 国際会議場

(ゴールデンルーム)

本日ここに、「全国信用金庫大会」を開催いたしましたところ、全国から、多数の関係者の皆様のご出席をいただきまして、かくも盛大に開催することができましたことは、私ども業界にとりまして、誠に意義深く、喜びにたえない次第でございます。

とくに本日は、公務ご多忙の中、岸田内閣総理大臣をはじめ、鈴木金融担当大臣、西村経済産業大臣、植田日本銀行総裁、小林日本商工会議所会頭、ならびに多数の来賓各位のご臨席を賜りまして、誠にありがとうございます。

また、日頃から、私ども信用金庫に対し、深いご理解と、ご支援・ご協力を賜りまして、全国の信用金庫を代表いたしまして、心より厚くお礼を申し上げます。

本日は、私ども信用金庫業界の当面の諸課題について、率直に所見を述べさせていただくとともに、ご来賓の皆様から、ご挨拶を賜りまして、私ども信用金庫の今後の経営の指針とさせていただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願ひを申し上げます。

それではこの機会に、業界が取り組むべき課題を5点、申し述べさせていただきたいと存じます。

第一の課題は、「取引先支援の強化」です。

わが国の経済は、この3年間、新型コロナウイルスにより厳しい状況にありました。政府による行動制限が緩和され、経済活動が活発化するにつれて、業況の回復といった明るい声が聞かれるようになりましたが、人手不足による事業への影響も心配されております。

また、ロシアによるウクライナへの侵攻などを契機として原材料価格の上昇が足かせになるとともに、米欧の中央銀行において、インフレ抑制のために急速な金融引き

締めに動いた結果、米欧の銀行が破たんするといった事態が生じており、世界経済、とりわけ米国の景気や金融システムの状況が我が国の金融・経済に与える影響が大変心配される状況になっています。

このように日本経済を取り巻く環境は、先が読みにくい状況ですが、取引先中小企業が経営環境の変化に翻弄されることがないよう、まずはその資金繰りをしっかりと支え、アフターコロナの下での販路拡大・経営改善支援を継続的に実施していく必要があると考えております。

さらに、SDGs、カーボンニュートラルなどの社会・経済のトレンドに、取引先中小企業が適切に対応できるよう支援していくことも必要であります。

第二の課題は、「経営管理態勢の充実・強化」です。

地域からの信頼をゆるぎないものにしていくためには、経営のガバナンスを一層強化し、各種リスクへの対応力を高めていく必要があります。

特に、国際的に重要課題となっているマネロン・テロ資金供与対策については、2024年3月末の態勢整備期限に向けて、待ったなしの状態であり、経営陣による主導のもとで、強力に態勢整備を進めていく必要があります。

全信協といたしましても、経営管理態勢の充実・強化に資するべく、各種説明会の実施や参考情報の提供等により、引き続き会員信用金庫をサポートしていく所存です。

第三の課題は、「デジタル化の推進」です。

社会のデジタル化が急速に進み、信用金庫においても、地域のお客様にデジタル技術を活用した利便性の高いサービスを提供するとともに、デジタル化による金融業務の効率化を進めていくことが継続的な課題となっています。

しかしながら、デジタル化に関する技術革新のスピードは目覚ましく、個別信用金庫の自助努力に加えて、業界の総合力をもって対応していくことが引き続き重要なものと考えています。

こうした環境の中、全信協、信金中金、SSC、共同センター、さらには各地区の情報サービス会社などの業界システム関連組織は、従来以上に緊密に相互連携をとりながら、信用金庫やお客様のニーズに即応した金融業務のデジタル化やその高度化を継続的にサポートしていくことが肝要であると考えております。

第四の課題は、「積極的な広報と人材の確保」です。

信用金庫の存在意義を地域社会の皆さんに認めていただくためには、信用金庫のブランドイメージを一段と高めていくことが重要であり、これは、新卒者の採用難や若年者の早期離職など、労働力の雇い手にとって厳しい環境が続く中において、優秀な人材の確保にも繋がる重要な課題です。

信用金庫は、「非営利・相互扶助」という協同組織の理念のもと、全国規模のネットワークと総合力を活用しつつ、地域の課題解決に取り組んでおり、こうした特性そのものが信用金庫のブランドの源であると思います。

全信協といたしましては、このような業界の特性をアピールすることで、地域社会の信用金庫に対する信頼を強固なものにするとともに、とりわけ若年層に対し、信用金庫の認知度を高めていくことが重要であると考えており、多様なメディアを活用した広報展開を図って参ります。

第五の課題は、「地域の課題解決に貢献できる人材の育成」です。

信用金庫が引き続き地域社会において求められる役割を果たし、その存在感を増していくためには、地域が抱える課題に果敢に立ち向かい、これを克服し、解決していくことのできる人材の育成が非常に重要です。

全信協といたしましては、女性活躍をはじめ、職員一人ひとりが有する能力を最大限発揮し、地域の発展を持続的に支えていくことが可能となるように、集合研修事業や通信教育事業を通じた人材育成に積極的に取り組んで参ります。

以上、いろいろ申し述べましたが、不確実な経済情勢の中にも明るさが見えつつありますので、会員制度を基盤とする協同組織金融機関である私ども信用金庫は、地域経済の発展のために、心をひとつにして、今後も取引先中小企業や地域社会の課題に積極果敢に取り組んで参る所存です。

本日、ご臨席の関係各位におかれましては、私ども信用金庫の真摯な取組みに対し、引き続きご理解をいただきますとともに、より一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げまして、私の挨拶とさせていただきます。

以上